



「阪神高速8号京都線」で行く

京、ぶらり

城南宮篇



鳥羽のあたりは、昔も今も、平安京の表玄関。

平安時代の末には、白河上皇が壮大な離宮を建てた景勝の地でもありました。

貴族もお参りした城南宮の神苑は、「源氏物語 花の庭」とも呼ばれ、

四季折々あでやかな色と香りにつつまれています。

京都観光の起点として、まず城南宮へ。

いにしへの平安絵巻の世界へどらいぶらりしましょう。

- 住所/〒612-8459 京都市伏見区中島鳥羽離宮町7
- 電話/075-623-0846
- 拝観時間/神苑拝観 9:00~16:30 (神苑拝観受付~16:00)
- 拝観料/大人600円、小・中学生400円 団体(20名以上)500円 ※2014年3月31日現在の拝観料です。詳しくは城南宮に直接お問い合わせください。
- 駐車場/あり(無料、200台)
- アクセス/阪神高速8号京都線「城南宮南出口」から約1km

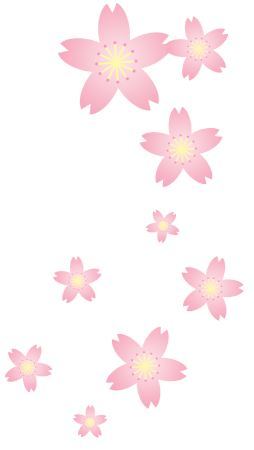
歴史を辿る

街中なのに、ゆったりと流れる時間
王朝の雅が息づく城南宮



所や御堂などが建ち並んだとが。以後、鳥羽、後白河、後鳥羽上皇と4代150年にわたり政治文化の中心となり、都のように賑わっていたといえます。その中心に城南宮が位置しており、いにしへの平安絵巻の彩りを、四季折々の祭りや行事に垣間見ることが出来ます。

現在でも、貴族の装束に身を つんだ歌人たちが、小川に流した杯のお神酒をいただきながら和歌を詠む、春と秋の「曲水の宴」は有名です。



花を慈しむ

源氏物語の花を楽しむ…
華やぎの春の庭へ



城南宮の神苑は、平安時代の庭園を再現した「平安の庭をはじめ、さまざまな時代の様式をとり入れた五つの庭を回遊できます。有名なのは3月上旬、見頃を迎える150本の枝垂梅ですが、でもご安心を。梅のシーズンが終わっても、空気を桜色に染める、枝垂桜がひときわ華やかな「桃山の庭」、池に映る藤の紫や、色とりどりのツツジが美しい「室町の庭」など、この神苑は一年中美しい花に彩られています。さらに、ここには「源氏物語」に登場する多くの植物が植栽されているのも大きな魅力。草木や花を愛でながら、平安の日本の心に思いをはせることができます。

旅の無事を祈る

交通安全のご祈祷を目的に、どらいぶらり



京都の街をドライブしていると、城南宮のステッカーを貼ったクルマをよく見かけます。ここは交通安全のご祈祷も有名で、車のお祓いや交通安全のお札を授かりに来る人が多いのです。交通の要衝にある城南宮は昔から、道中の無事を祈る神社として知られていました。平安時代の末には、熊野三山に参詣することが流行となり、白河上皇や鳥羽上皇もここで安全を祈願して旅に出かけられたといえます。城南宮の方角の災いを除く方除、旅行安全の信仰は、愛車の交通安全への祈りに引き継がれているでしょう。

名物を味わう

旅の疲れを癒やす、鳥羽街道の「おせきもち」

城南宮を訪れたら、ぜひ召し上がっていただきたいのが「おせきもち」。よくついたお餅の上に、あっさりとした甘みの丹波大納言の粒あんがのっけています。どこか素朴な懐かしい味。創業450年、鳥羽街道の茶屋の名物として江戸時代から知られていました。鳥羽街道といえば、そう、このあたりは鳥羽伏見の戦いのはじまった地としても有名。激戦の末、新政府軍が勝利し、戊辰戦争として明治維新へと続きます。ひと息ついたあとは、幕末の戦跡を訪ねてみてはいかがでしょうか。



- 住所/〒612-8463 京都市伏見区中島御所ノ内町16番地
- 営業時間/8:30~18:00
- 定休日/毎週月曜日、火曜日(冬季と夏季に臨時休業あり)
- 電話/075-611-3078 ●駐車場/あり(20台)
- アクセス/阪神高速8号京都線「城南宮南出口」から約1km
- ※売り切れの際は御容赦ください。